

最後の「千種寮祭」

NEWS CIT

2013
11.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行



地域の人々も訪れ、にぎわった千種寮祭「テント村」会場



お楽しみ大抽選会



後夜祭へ、みこしで繰り出す

催しや演舞、熱気 地域の人の 惜しむ声

来年3月に閉寮となる千種寮(千葉市花見川区千種町)で10月11・13日の金、土、日曜日、最後の寮祭「第50回千種寮祭」(主催・千種寮友会)玉城達朗寮長・電気電子情報工学科3年)が開かれ、寮生と地域の人々延べ約1200人が祭りを楽しんだ。来春には新習志野キャンパスに「桑達寮(男子寮)」「椿寮(女子寮)」が完成予定で、寮祭の歴史は新習志野に場所を移して受け継がれていく。

千種寮で寮祭50年。今回、ケジュールが最終確認まで、寮生全員が、来場者への対応など気持ちを締め、お祭りに臨んだ。前夜祭の11日、執行部を中心に、一般公開の12日、コスプレコンテスト、学友会企画、ビンゴ大会などがにぎやかに開幕。千種寮一の美を競う女装コンテストが華を添えた。

最終日の13日には、区内「グループホームゆかりの里」の老人・職員や県立積橋高校吹奏楽部による演奏が行われた。勇ましい千代田太鼓や、寮生によるバンドライブ、大抽選会も会場を盛り上げた。よさこいソーラン同好会の演舞が始まると、熱気は一気に高まり、寮生も地域の一般来場者も一体となって祭りを楽しんだ。

ニュースガイド

- 2面 彼に注目!小原聡将君/飯泉さんベストプレゼン賞/阿久澤さん松山君が準グランプリ
- 3面 建都調査団、今年もブータン入り/アメフト支援、加藤研インターン/情報デザインフォーラム、オープンラボ
- 4面 「チバニー」を語る
- 5面 就職シーズン突入へ/校友「北澤晶彦氏」
- 6面 9月オープンキャンパス/新任紹介



熱唱!バンドライブ
ファイアストーム



つばい夜空に響いた。千種寮は旧制大学時代から数え6代目の寮。屋敷林に囲まれた敷地北側に1963(昭和38)年から67年にかけて鉄筋コンクリート造り4階建ての1〜4号棟と、平屋建て事務・管理棟などが建てられた。一時は650人、近年も約3000人の寮生が生活をともにし、新習志野(芝園)、津田沼の両キャンパスへはバスで移動。敷地内には武道館、野球場、運動場があり、大学のイベントに使われてきた。

第49回スポーツフェスティバル(実行委員会)神山拓哉委員長・情報工学科3年)は10月8日(火)、西浜運動施設と新習志野キャンパスで開催された。競技参加者は延べ800人。さわやかな秋晴れの中、学生も教職員も、日頃の運動不足解消を図り、気持ちのいい汗を流した。



今年も恒例のイオンキャンペーン「ベントポトルキャップで世界の子供たちに笑顔を送る!!」に参加。スポーツフェスティバル中に約31キものキャップを回収した。

秋晴れ、いい汗 第49回スポーツフェス開く

本学オリジナルキャラクターのチバニーが学生や教職員の応援に活躍。兄弟キャラ・千葉県のチバニーも活躍した。

今年も恒例のイオンキャンペーン「ベントポトルキャップで世界の子供たちに笑顔を送る!!」に参加。スポーツフェスティバル中に約31キものキャップを回収した。

同寮生も、これで最後と、例年より多数が参加。昔の寮生活を懐かしむ姿や、学友と久々の再会を喜ぶ場面があちこちに見られた。地域の人々からは「毎年、寮祭に参加するのが楽しみだった」と、閉寮を惜しむ声が聞かれた。

玉城達朗寮長の話 寮祭が天候に恵まれて無事に終了し、協力してくださった方々に感謝しています。事前に多数のOBの方々から「最後の寮祭だからすごく楽しみにしているよ」「同期の卒業生を連れて遊びに行くから、よろしくね」と声をかけてくれた。

後夜祭では、恒例「みこし」を寮生たちがグラウンドに担ぎ出し、ファイアストームを開始。追っ歌や棟歌などが、力いっぱい歌われてきた。

実行委員長の神山君は、「この1日のために5カ月間準備し、全力を尽くしました。苦勞が多かった分、達成感もひとおです。多くの方に楽しんでいただけてホッとしました。仲間たちの協力のおかげと感謝しています。来年は50回目という記念の年。多くの学生に参加してほしい」と語っていた。

POINT 12.22 OPEN CAMPUS 12.22 SUN 津田沼キャンパス

12.20(土) 12.21(日) 12.22(月)

千葉工業大学

津田沼祭 第64回

11/22 初日!!

11/23

11/24

Colorful 様々な色のキャンパス

千葉工業大学 津田沼校舎

ジェットスキー世界最年少プロライダー 小原聡将君(機械サイエンス学科1年)



コーナーを果敢に攻める小原君

10月に米アリゾナ州で開かれたジェットスキーの世界選手権「IJSBA ジェットスポーツワールドファイナル」のプロアマ・スキー・リミテッド(改造あり)クラスで世界3位。また、世界最高峰のプロ・スキー・オープン(改造無制限)クラスでは、非力なマシンをテクニックと根性で操って予選は5位、決勝は世界の強豪相手に10位となった。

戦績表には世界チャンピオンや全日本チャンピオン、マレーシア、フィリピンでのナショナルチャンピオンといった「勲章」が並んでいる。

非力を技と根性でマシン理解へ 機サに入学



世界のトッププロに負けない走りでも世界3位に

(注) IJSBA = インターナショナル・ジェットスポーツ・アソシエーション

父の殺博さん(47)はジェットスキーショップを営む現役のライダー、母の雅美さん(44)

バギーのレースに出た。ジェットスキーのハンドルの握ったのは小学6年。米国でのワールドファイナルでいきなり1位に入り、注目を集めた。日本ではジェットスキーに乗るには免許が必要のため、中学1年で単身、免許の要らないオーストラリアに渡り、現地の関係者の下で練習とレース経験を積んだ。中学2年になると、ドバイのチームに招かれて7カ月の武者修行。ホームステイして現地の日本人学校に通いながら練習と実戦経験を重ね、現地ランキング

基礎になっています」高性能のマシンが圧倒的に有利なレースで性能の劣るマシンに乗りながら、162kg、48kgの小柄な体を生かして徐々に順位を上げ、やがてトップに立つレースぶりから、海外でのニックネームは「SAMURAI」。

そのサムライぶりはレースの裏舞台でも発揮される。納得いかない判定が出れば、審判に猛烈と抗議する。もちろん英語だ。小学校から塾に通っていたという英語力は英検2級。最近受けたTOEICは「自分に納得いかない580点。次は絶対頑張ります」。

殺博さんから「勉強をちゃんとしなければ、ジェットスキーはやらせない」と言われて育った。その教えは大学に入っても守っている。

「1年の前期は頑張って28単位取りました。高度が高くなるのが分かったが、再現できるまでは、また言えないというのが、今回の結論だ。学会では、かおり環境学が最多得票を得た。

飯泉さんによると、建築都市環境学では通常使われないような化学知識が要求され、分析機器や方法をゼロから勉強したので大変だったという。

「かおり環境学が最多得票を得た。飯泉さんによると、建築都市環境学では通常使われないような化学知識が要求され、分析機器や方法をゼロから勉強したので大変だったという。」

イ、4月と8月にマレーシアに遠征。今月は再びマレーシア、12月にはタイで世界選手権に挑む。「今年のIJSFジュニア選手権全日本選手権」も男性に交じて全日本チャンピオンになったという一家に生まれた。3歳でレーシングカートに乗り、4歳でモトクロス、小学生になると4輪

度が高くなるのが分かったが、再現できるまでは、また言えないというのが、今回の結論だ。学会では、かおり環境学が最多得票を得た。飯泉さんによると、建築都市環境学では通常使われないような化学知識が要求され、分析機器や方法をゼロから勉強したので大変だったという。

飯泉さん ベストプレゼン賞

新築臭の再現研究を発表

臭気公害を減らし、快い快適環境への目を指す公益社団法人「かおり・かおり環境協会」主催「第26回かおり・かおり環境学会」が8月21・22日、東京都文京区の文京学院大本郷キャンパスで開かれた。一般口頭発表部門で「機器分析に基づく新築臭の測定・評価に関する研究」主眼においた新築臭の構成成分を用いた新築

臭の再現」を発表した建築都市環境学専攻修士2年、飯泉元氣さんがベストプレゼンテーション賞を受賞した。飯泉さんは小峯裕己教授の研究室で、嗅覚に基づく室内空気の評価方法や快適な快適環境形成について研究中。

新築臭には、木の香など快いにおいもあるが、ホルムアルデヒドなどの有害臭もある。有害物質は建築基準法改正や建材の進化などでかなり減ったが、建材には依然、揮発性有機化合物が多く使われ、不快や苦情のもとになっている。

飯泉さんらは新築臭について、測定対象を▽床部位▽フローリング、床接着剤、レベリング材(平滑化に用いる素材)▽壁・天井部位▽ビニールク

ロス、壁紙接着剤、石膏ボード▽これら建材を組み合わせた模擬室▽床+壁+天井に分類。各部位について、温度、湿度、換気を管理しながら、放散率を測定し、含まれる化学物質を測定し、その原因となる化学物質を調査した。

調査結果を基に化学物質を混合し、模擬的に建材臭を作った。組み合わせる物質数を増やせば新築臭との類似



研究を発表する飯泉さん

「Magic Table」

阿久澤さん 松山君 準グランプリ

逗子メディアアートフェス

改装した東京駅やビルなどにプロジェクターで映像を投影し話題を集める「逗子メディアアートフェス」が9月27日〜10月6日、神奈川県逗子市の逗子文化プラザ・フェスティバルパークで開かれた。本学から阿久澤拓巳さん(未来ロボティクス専攻研究科)と松山周平君(未来ロボティクス専攻4年)が小型プロジェクションマッピングの部に「Magic Table」を出品し、準グランプリに輝いた。



準グランプリに輝いた阿久澤さん(右)と松山君

作品は、触れずに空中ジェスチャーでPC操作できるデバイス(Ueag)。

松山君は「ロボット技術で学んだセンサーを他の面白いことにも使いたい」と、興味で始めた試みが受賞につながり、大きな自信になりました。

松山君らの作品は動画サイト(URL: http://vimeo.com/user1786597)で見ることができます。

同フェスティバルはプロジェクションマッピング協会などが企画。国内初の公式プロジェクションマッピングショーで今年で4回目。今年は「ミテ、キイチ、カンジル」をテーマに逗子小学校などを巡り、約20作品が応募。入賞作は渋谷・道玄坂の「アート+テック」展示場「サウノラポラス」で展示された。

「Magic Table」は、改装した東京駅やビルなどにプロジェクターで映像を投影し話題を集める「逗子メディアアートフェス」が9月27日〜10月6日、神奈川県逗子市の逗子文化プラザ・フェスティバルパークで開かれた。本学から阿久澤拓巳さん(未来ロボティクス専攻研究科)と松山周平君(未来ロボティクス専攻4年)が小型プロジェクションマッピングの部に「Magic Table」を出品し、準グランプリに輝いた。

改装した東京駅やビルなどにプロジェクターで映像を投影し話題を集める「逗子メディアアートフェス」が9月27日〜10月6日、神奈川県逗子市の逗子文化プラザ・フェスティバルパークで開かれた。本学から阿久澤拓巳さん(未来ロボティクス専攻研究科)と松山周平君(未来ロボティクス専攻4年)が小型プロジェクションマッピングの部に「Magic Table」を出品し、準グランプリに輝いた。

今年もブリータン入り

古民家調査 建都・古市教授ら23人



④チュパ村の中心 ⑤ 現地入りした調査団

GNP（国民総生産）よりもGNH（国民総幸福量）を。国民の9割が「自分たちは幸せだ」と感じているというヒマラヤの王国ブータンに今年も9月、建築都市

環境学科の調査団が入った。2009年の第1回以来、1回のシンポジウム（12年）を挟んで4回目となる今回の調査は古市徹雄教授を団長に教員、大学院生、学部生合わせて総勢23人。ブータン政府の要請に基づいたもので、これまで以上に古民家の実測調査を中心として、集落への聞き取りにも範囲を広げられた。かつては

「ヒマラヤの秘境」といわれたブータン。しかし、21世紀に入ると急速に西欧化の波が押し寄せ、首都ティンブプでは古民家を取り壊されて次々とマンションにとりかわられている。ブータンの典型的な民家は、突き固めた土壁造りに一部木造住居部分をはめ込み、小屋下には、収穫物を一時保存するための吹きさらし倉庫がある4階建て。窓枠などに独特の装飾が施されている。建てられてから100〜200年を経過した家も多いが、2008年に訪れた古市教授がその素晴らしに魅せられて

調査を提案するまでは、政府高官でさえ保存に関心をもつ人は少なかった。今回の調査団は、唯一の国際空港がある西部のパロから車で1時間ほどのチュパ村で、民家の精密な実測と周辺および村全体の地形を最新機器を用いて測量した。このデータをもとに詳細な地形図を作成する。吉村量子准教授は、伝統民家での空間の使い方、作法秩序や空間意識、集落内の土地の所有と管理などについて聞き取り調査を行った。測量を担当した小泉俊雄教授は「ブータンの民家を、その周辺と村落全体の地形を含めて精密に実測したケースはわれわれが初めて。今後、民家の保存がさまざまなことに役立つと思う」。速

藤政樹教授は「これまでの4回の調査でブータン全土をカバーできた。調査結果はブータン政府に提供するので、今後の国づくりに役立ててほしい」と話している。修士課程1年の深澤衛さんは「日本と全く異なる民家と周辺環境の一体感に、建築の力の大きさを日本にいたるとき以上に感じた」と話した。そして参加者全員がブータン人の笑顔に魅せられたようだ。



「Smile Experience オープンラボ」は山崎・安藤両研究室の主任とあわせて、参加者100人は募集開始から3日で満員に。8割を企業からの参加者が占めた。テーマの「ワークショップ」は情報デザインの学び方として最近、注目が集まっている。フォーラムでは、いま世界でもっとも先進的なワークショップを実践している来スランフォード大の実例を、実際に加わった経験をもつ京都工芸繊維大の大学院生が紹介。

情報デザイン研究、一堂に

山崎・安藤両研究室が「フォーラム」オープンラボ

デザイン学科の山崎和彦教授と安藤昌也准教授の研究室が主催する「情報デザインフォーラム」が9月22日、津田沼キャンパスで開催された。2007年から毎年春と秋に開き、第12回を迎えた情報デザインフォーラムの今回のテーマは「デザイン・ワークショップ」。うれしい体験の

情報デザインフォーラムの講演会場と研究展示



安藤准教授、山崎教授が発表し、参加者はさまざまワークショップの活用例に聞き入っていた。会場では山崎・安藤両研究室のほか武蔵野美術大、専修大、常葉大、東京都市大、東京工大の研究結果がパネル展示された。

「Smile Experience オープンラボ」は山崎・安藤両研究室所属の修士1年の研究展示と学部4年の卒業展示、学部2・3年の演習作品を展示したほか、山崎研究室による産学共同の「Think Goods プロジェクト」の研究発表が行われた。

ン研究の実践例として紹介された。これはミャンマーから難民として日本にきて、東京でビルマ料理店を営む夫妻を中心に、難民問題取材し、その文化や習俗を生かした新しいサービスやイベントを考えていこうという試み。その一環として会場内にビルマ料理店を開店。学生やフォーラム参加者が珍しい味に舌鼓を打っていた。中心となってオープンラボを運営した浅野花歩さん（修士2年）は「当初は不安でしたが、院生や学部生たちの協力で成功できたと思っています。イベントを全員で作りに上げていく過程で研究室の学生同士の関係が強くなっていくように感じています」と語っている。

アメフト「シーガルズ」戦 支援を通じインターン 加藤研が観客動員作戦

PM 学科

社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科の加藤和彦准教授の研究室が、習志野市が本拠地のアメリカンフットボールチーム「オービックシーガルズ」の支援活動をインターンに取り入れ、成果を上げている。「シーガルズ」は社会人アメフトリーグの強豪チーム。昨年まで日本



7月から準備を始めた。プロジェクトマネジメント学科は「戦略的なプロジェクトを計画・管理し、成功に導くことのできるリーダー的人材の育成」を掲げており、学生は日頃からヒト、モノ、カネ、情報などを駆使してプロジェクトを運営するための知識を授けられている。この知識は、シーガルズの選手と

一緒に習志野市役所を訪問。宮本泰介市長と面会して応援を要請し、市長から「日本一をめざしてがんばってほしい」と励まされた。リーダーの多田野康人君（3年）は「市民の方たちともつながりができ、自分の幅が広がった感じがする」と振り返る。また、加藤准教授は「学生たちはより主体的に物事に取り組む姿勢が顕著になった。これからの就職活動にもいい効果が出ると思う。来年度以降もこういうインターンを継続していきたい」と話している。

平成26年度 入学生納付金 据え置き

(単位：千円)	学部			大学院		
	入学金	授業料	合計	入学金	授業料	合計
26年度	200	1,350	1,550	200	800	1,000
25年度	200	1,350	1,550	200	800	1,000

(次年度以降に在学学生の授業料は、学部・大学院とも毎年3万円のステップアップとなる) ※本学卒業生の大学院進学者は、入学金免除

チバニーとともに



受験生応援大使

「チバニー」を語る

出席者

坂崎 千春さん
 瀬戸熊修理事長
 小宮 一仁学長
 進行・日下部聡入試広報部長

サテライトキャンパスツインタワー ウサギの耳から着想

親の生み坂崎



小宮一仁学長

ナの「エ」を生かしました。父は「チバエ」って何だ」と首をかしげてました。

小宮一仁学長 大好きです。瀬戸熊修理事長 最初はゆるキャラというものが、大学の顔として一般の人に理解していただけたのか少し心配しておりましたが、チバニーのおかげで本学のイメージが随分柔らかくなりました。(チバニーが印刷されている)名刺を渡すと相手方の表情が緩むんですよ。



坂崎千春さん

坂崎さん アカデミックな大学とチバニーの組み合わせが意外に映るんですよ。

坂崎さん これまでオーブンキャンパスにたくさん高校生が来てくれたとしたらうれいですね。自分としては、かわいらしい系の絵柄が工業大学の硬いイメージと合うのか少し心配でした。

坂崎さん 「進んできますね」とか「発想が柔軟ですね」と言われます。



瀬戸熊修理事長

坂崎さん 5つ案を出したうちの1つ

「工大イメージを柔らかかに」 「垣根を一つ崩してくれた」

理事長 学長

坂崎さん 自分が一番うれしいです。

学長 11の学科ごとに違う色のチバニーがいまですが、どれも日本の伝統色だところがある。歴史のある大学としてのイメージの発信にもなるし、学生に伝統を大切にすることを意識させることにもつながります。

坂崎さん 高校で進路を考えたようになってから美術系志望だったので。

学長 私とお父様とは年齢が離れていますので、接点は同じ教授会に出た3、4年間だけです。

味だ」と聞かれます。工大(こうだい)の「工」(こう)だと言った「なるほどね」と覚えてくれる。てっきり坂崎さんの狙いかと思っていました。

学長 本学と全く関係がないウサギをキャラクターにしているところが謎めいていてクールです。

坂崎さん クライアントさんがいる場合、自分の思い入れを詰めすぎないようにしています。

学長 それが一番大切な解決するには、自分に自信を持つつつ客観的にいいものをつくっていく。

学長 キャラクターというものがそこまで力を持ち始めたんですね。

父君(本学名誉教授)の縁で

坂崎さん そうですね。「工」がイゲで、ヒントと

学長 科学的な新しい真理を発見すると、われわれ工学者は価値をつくり出します。

理事長 聞くところでは、JRのSuicaは坂崎さんがデザインされた。

(次ページへ続く)

在学生へ

「気乗りしない課題でも一つ一つ答え見つけて」

坂崎さん

（前ページから続く）
——在学生にメッセージをお願ひできますか。
坂崎さん 自分の好きなじゃないものや気乗りしない課題でも、一つ一つ答えを見つけてほしいと思います。最善のものを探していくことで、自分の意外な才能を見いだしたり、周りから評価されたりするので。やりたことは外からの働きか

けに添えていくことで見つける気がします。
つかる気がします。
理事長 夢を持つことが大事で、それを実現する方法はあると思います。ただ、バーチャルな世界の夢になってしまおうと実現は不可能です。そこに気づいた時に癒しがないと行き詰まる。その点、チバニーが、現実を振り返る気持ちの余裕を与えてくれると思います

坂崎さん 工学と美術は美はそんなに遠いものではないですね。若い頃は理系って難しく自分とはかけ離れたものと思っていました。物事の真理とか極めてきれいなものをつくっていくという意味では同じ方向を向いているのかもしれないですね。
学長 キーワードは

「グローバル」です。グローバル化は国際化だけではなく、何事にも障壁になっている垣根をなくすことも必要です。そうすることによって今の学生の可能性は昔より広がると思います。
坂崎さん そうですね、そう思います。
学長 広い世界のことを、大学という垣根をなくして学生に紹介し、大

学で学習するということを得られて自分の可能性が広がっていくかを教える。チバニーもグローバル化に役かっています。
坂崎さん そうですね。
学長 今までの世界の大学が持っていた垣根を一つ崩してくれたと思います。工学もあれば芸術や社会科学もあり、それが垣根なく集まった多彩な大学として高校生に理解してもらうために、チバニーにはこれからのいると活躍してもらおう計画です。坂崎さんお忙しいとは思いますが、今後も御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

就職シーズン突入へ

● 支援行事も本番

12月の就職協定解禁を目前に控えて、学部3年生と修士1年生を対象にした就職支援行事が自白展・進路支援部は、日本経済の好転に伴う求人数

の増加に乗って内定率のさらなるアップを図ろうと、支援活動に熱を入れている。
経済好転で求人上昇
就職課によれば、アベノミクス効果による経済好転を背景に、最近の求人数は昨年度に比べ10%超上回っているという。とりわけ建築関係は売り手市場。IT系金融関係も好調だ。このため現在の3年生の就職環境は、現4年生に比べると明るさが増している。

しかし、基幹産業であるモノづくり系（メーカー）の求人は必ずしも増えておらず、樂觀は許されない。
9月からの就職課の支援行事では、新たに「実践就職トレーニング」を展開。また、10月に4回の就職講演会を開催した。

新卒就職情報の専門家を招いた講演会では「社会人として求められることは、厳しい就職戦線を勝ち抜くためには「成長する会社・危ない会社の見分け方」

「グローバル」です。グローバル化は国際化だけではなく、何事にも障壁になっている垣根をなくすことも必要です。そうすることによって今の学生の可能性は昔より広がると思います。
坂崎さん そうですね。
学長 広い世界のことを、大学という垣根をなくして学生に紹介し、大



真剣なまなざしで説明を聞く学生たち

に役立つ新聞の読み方」といった実践的なテーマが並び、会場はいつも満員だった。
例えは「日経就職ナビ」を運営している株式会社「コ」の専門家を招いた10月10日の講演会「業界・職種研究」で講師が強調したのは次の4点だった。
◇業界・企業研究と自己分析（自分はどういった仕事をやりたいか）はセットで行おう。
◇「できること」「したいこと」「求めること」が合致していることが合致して、説

得力ある志望動機が生まれる。
◇業界研究とは企業を研究すること。同業他社との違いを理解しよう。そのためには企業に向いて、直接話をしよう。
◇企業は多岐にわたる事業を行っている。それを把握し、その中で自分が活躍できそうなフィールドを探そう。

就職支援活動は、いま開催中の「業界セミナー」を経て、12月の「OB・OG懇談会」まで間断なく続く。
福江聡就職・進路支援部長の話 就職活動で威力を発揮するのは「本番力」とあきらめない気持ち。いくらTOEICのスコアが高くても、英語で文章が書けたり、会話ができなければ企業は評価してくれません。そして、いくら失敗してもめげない強い行動力。頑張りましょう。

強をきぼった報いでしょう。自業自得。引き続き学費は出してあげましたが、親にはものすごくうれしかったですと振り返る。
アパートへ移り、心機一転。アルバイトをしながら翌年、無事4年生に。パソコンで作った画像をLSIを使ってスーパーインポーズする回路設計に取り組んだ。就職も東証一部上場の音響系OEM会社へすすんだ。

「現在、スマホでさえカメラによる無料ナビ機能を持つ。留守番電話のソフト開発の際、不具合ロケットを大量に造ってしまった前の会社における苦い教訓から、「設計者を増強し、信頼性を高めるのが使命」と話す。
大学の卒業生はただいま4人。「互いの能力で仕事をこなしている組織なので、特別に学校を意識することはありません。それにしても、若い人は酒席へと声をかけても乗って来ませんね」といささか寂しげである。休みはゴルフで気分をほぐす。

活躍する 校友

協同電子エンジニアリング社長

北澤 晶彦氏 (52歳)

(昭和60年、電子工学科卒)

車はいまや先端ハイテクの塊といっても過言ではない。競争も熾烈だ。カーオーディオ、カーナビ、ETCなど車載機器を手がける協同電子エンジニアリング株式会社（本社・横浜市都筑区）の社長の椅子に本学電子工学科OBの北澤晶彦さんが着いて間もなく2年。「英会話だけはものにしておけよ」と苦笑いしつつ、欧米へ、中国へと忙しく駆け回る。

千種寮からスタート 好きな設計技術時代に生かして



「津田沼キャンパスとは奇縁」と語る北澤社長

第一棟4階。夜、廊下に並んで号令点呼、コンパ、そして寮祭ではふんどし姿で御輿をかつぐ。そうとは知らずに北澤さんら10人が入寮した。「これはたまらんと、1週間て半分が退寮してしまいました」。夜逃げならぬ、昼逃げ。日中荷物をまとめて姿を消したという。でも、コンソシたくなないと3年いた。負けず嫌いだ。

3年間ですか？ 「4年生へ進むには単位不足で、研究室に属せなかつたんです。勉

での日本電電公社はNTTと看板を変えて民営化。通信回線の自由化、他社による事業新規参入が始まった。電話機に留守電機能が付いたり、通信に音楽データも乗せられるようになった。「質の時代」の到来だ。北澤さんはそれらのモデム設計を担当したが、やがて生産工程は人件費の安い中国へ。余剰人員対策の希望退職募集をきっかけに、「好きなカーナビ設計をやる」（北澤さん）との話もあり、

約110人の社員の平均年齢は34歳と若い。アメリカやドイツに子会社やオフィスを配し、中国での取り引きを含め年に数回は海外へ出かけ

入試講座、満員に

9月オープンキャンパス

9月のオープンキャンパスが9月29日(日)、津田沼校舎で開催され

「入試説明会」「入試問題傾向と対策」など、入試にかかわる講座が好評

「学科説明会&オモシロ体験学習」では、研究室ツアーや工作体験など、各学科が趣向を凝らしたイベントを行い、来場者らは思い思いに千葉工業大学を体験した。来場者からは「体験するだけでなく、卒業後の進路までを含めた丁寧な説明に、満足しました」という声が多かった。

「入試説明会」「入試問題傾向と対策」など、入試にかかわる講座が好評で、特に「推薦入試説明会&対策講座」は2号館3階大教室が満員になる盛況ぶりだった。

「入試説明会」「入試問題傾向と対策」は2号館3階大教室が満員になる盛況ぶりだった。



高度な技術に興味津々。材料解析室で



ハンダごてを手に体験授業



新学生寮のモデルルームを見学

おそろいのTシャツで受け付け



コンピュータ演習室で

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名
環境科学研究会	9/28、10/19	エコメッセ2013 in ちば、水質調査データ収集
写真部	9/16~9/29	新人展
精密ロボット工学研究会	9/8	BRAVE
鉄道倶楽部	10/6	ちば学生鉄道研究会連合 合同展示会
茶道部	10/5~6	第62回 定例茶会
自動車技術研究会	10/5~6	本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2013
ソフトメディア研究会	10/20、27	COMIA106、音系、メディアミックス即売会M3
総合工学研究会	10/27、9/14・15	鬼高さんしゃ祭、第23回 ROBO-ONE
フィッシャークラブ	10/27	投げ釣り大会

体育会	期間	大会・発表会名
弓道部	9/22	第45回関東学生選手権秋季リーグ中関東ブロック
剣道部	9/8、21	関東学生剣道選手権大会、関東学生女子剣道選手権大会
ゴルフ部	9/11	関東理工系リーグ夏季大会(団体 準優勝、個人 準優勝、3位)
サッカー部	10/6	千葉県大学サッカーリーグ(春季二部)
自動車部	8/26	全日本エコドライブチャンピオンシップ2013
卓球部	9/12~13	秋季関東学生リーグ
二輪部	8/4、9/15、28	Campus Off-Road Meeting 第4戦、5戦、オートボーイ杯 第3戦
バドミントン部	9/14~28、9/15	関東大学バドミントン秋季リーグ戦、秋季スペシャルオープン
よさこいソーラン風神部	9/8、9/14、9/29	大江戸ソーラン祭り、YOSAKOI かまがや、ひまわりフェスティバル(団体 大賞(1位))

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。今後、定期的にいろいろなクラブの活動状況をお知らせしますので、学生たちのがんばりにご期待ください。



音環境実験室で不思議体験



敵なしの坂口名人(右)

業経営学科(当時)の卒業生・坂口和さんが登場。5人を相手に多面打ち対決し、不敗記録を更新した。

今年度オープンキャンパスは12月の開催を残すのみ。師走を彩るクリスマスイルミネーションが多数、企画されている。



新任紹介
栗生 一男
(施設部施設課担当課長)

編集だより
この数日、なんだかため息の連続。自宅ならまだしも、職場では、さあ仕事だがんばろうーと思っっているときに、傍で「はあ〜」「ふう〜」と聞こえたら、周囲は一気にテンションが下がるに違いない。
家庭でも職場でも、め



「ため息をつくとき幸せが逃げてしまふよ」と言われたことがあるが、この編集だよりを書き始めてから、すでにもう4、5回ため息をついてしまった私の幸せは、また残っているのだろうか？
こんな感傷に浸っている場合ではない。ため息をつくより、鼻息を荒くして走り回る方が私らしい。たぶん、きっと。
入試広報課
大橋 慶子

四季雑感
長年住み慣れた大阪を離れ、千葉で生活することになって3年目を迎える。新しい生活が始まり、目まぐるしく日々が過ぎ、また研究者・教育者として研究室・教室にこもりきりの毎日、四季を感じる余裕がなくなかった。ただ、私の研究領域であるイギリス文学で
まるるしく過ぎてゆく時間の流れに、自分の能力がつかない、ついつい漏れてしまう……というのがため息の理由のひとつ。また、「ふう〜」と息を吐くたびに、一種の深呼吸のようなものもあるのがふたつ目。しかし、最近丸く太って？
は季節を感じさせる詩がたくさんある。ご存知のようにイギリスは雨が多く、厳しい寒さの続く期間も長い。日本のように美しい四季折々の情景を感じる機会が少ない。そのような環境にあるイギリスでは、多くの詩人が秋の美り豊かな日を願う詩を数多く残している。みなさまが美り多い季節を過ごされますようお願いを込めて、ウィリアム・ブレイクの詩の一説を引用して終わりにします。
山内 政樹

PPA
また、コラムを投稿させて貰う機会を頂きました。6月号で書き残した事を書かせて頂きます。私の仕事の3割程は交渉事が占めます。上手く行く事が第一ですが、その後その方に頼られるようになる、仕事に嬉しさを感ずります。相手に
は季節を感じさせる詩がたくさんある。ご存知のようにイギリスは雨が多く、厳しい寒さの続く期間も長い。日本のように美しい四季折々の情景を感じる機会が少ない。そのような環境にあるイギリスでは、多くの詩人が秋の美り豊かな日を願う詩を数多く残している。みなさまが美り多い季節を過ごされますようお願いを込めて、ウィリアム・ブレイクの詩の一説を引用して終わりにします。
田岡 茂